臺灣日日新報 夕刊 二月二十四日 夕刊芝居・一部五銭

最後の總會を前に 十九國委員會開かる

總會の議事順序等を協議

【ゼネバ二十三日發電通】二十三日午後五時二十分から開會された十九國委員會は二十四日の總會に先立ち、日本代表部の脱退通告につき、對策を協議した

熱河問題提訴の際 總會はすぐ會議續行

諸問委員會の設置を決議

【ゼネバ二十三日發電通】二十三日午後五時二十分から開會された十九國委員會は二十四日の總會に先立ち、日本代表部の脱退通告につき、對策を協議した

要害堅固なる 宛然一獨立國

湯玉麟が今まで頑張って來た一理由

熱河を 省なんと (2) 所は か

小林、鷲澤兩氏 きのふ歸朝

松岡全權の活動振りを語る

留保宣言で 支那は贊成か

その儘受諾できぬ

米國は招請に參加せん

然し露はオブザーバーの程度

總會席上で行はるる 大膽率直な松岡演說

約四十分に亙らん

總會の經過を 懸念する委員會

『報告書採擇前に日本は引揚げと』

新委員會の設置は 小國のみの立場から

その存在の意義は 大國側の力の入れ方で決定

廿四日總會の 議事の順序

事務局で決定

總會の出席は 五十國內外 日本だけだらう

反對投票は

少年航空兵の死

桃井京次作 淺枝次朗畫

紅漢方 眞藥は東洋の時 漢方文化の高揚と共に驚異的に行われ 健康を現出してゐるが近時偽 眞の開運集 セイロ 百年の人と 時代に於ても 者にその効 しくその 本剤は長 とは治癒 ある。 ロセイロ 切に大の 健康 ワイセ腸藥 健康 定價 四十五錢 百粒入 二百粒入 適應症 一回二回 一日三回 用法用量 一回 一日 一回 一日二回 東京丸ノ內 鐵河內商店 藥品部

進撃命令を受け 滿洲國軍○○へ出動

二十三日午前零時を期して 雪を蹴つて西へ西へ

【新京二十二日發聯合】軍政部總長滿洲國軍總司令張景惠氏よりの進撃命令を受けた前阿總司令張海鵬氏は麾下全軍に對し即時○○に向け前進を命じ精鋭十二日午前零時寒氣を冒し○○を發した、騎兵部隊を先頭に折柄降り出した雪を蹴つて西へ西へと長蛇の軍を進め張海鵬軍司令部も○○に進んだ

吹雪を冒して前進

【通遼二十三日發聯合】前敵部隊總指揮張海鵬麾下○○○○名は滿洲國軍總司令部の命令に基き○○に向け前進中、友軍の飛行機偵察隊は四日朝○○方もたき大吹雪を冒し○○に向け前進中、友軍の飛行機偵察隊は四日朝○○に○○に着を飲む筈がある

【通遼二十三日發聯合】滿洲國軍總司令部軍政部總長張景惠氏よりの進撃命令を受けた前敵部隊總指揮張海鵬氏は二十三日早朝零時○○に向け全部隊に前進を命じたその盛況を傳へる、二十三日午前二時滿洲國軍先鋒として前敵總指揮張海鵬氏の○○○○名及び第三旅騎兵旅長○○○○名は○○を發し何れも○○に向け進撃を開始した、この日夜來の積雪民館に氷雨氏

續殘月譜

(124)

志乃田廸司作
清水三重三畫

恐喝男(一七)

「勝つのは目的の……」

「眠くて、山田兵衛、ふと大笑い」

「にはは」

「さうだ、親分だつ」

「悪くまつたぞ、いいか、しつかり」

「よう」

オエラ方を連ねて
二國産映畫奬勵會 二
銀座パレスで發會式

三木武吉、田中貢、水上嘉一郎、久米正雄、菊池寛、三上於菟吉、長田幹彦、細野三千雄、大木惇夫、吉屋信子、宇野千代、富田常雄、阿部艶子、伊藤道郎、岡田時彦、谷田貝博士、小田博士、小出博士、吉田博士、大串博士、金森博士、吉備新聞、西條八十、ダン原子、四条文子、河原侃二郎、小林千代子、福内智三、勝部千代治、市丸、内田誠、大谷竹二郎、城戸四郎、高橋良造、山本吉太郎、玉木英彦、大沢善夫、野村芳亭、岡譲二、竹内良一、澤蘭子、水久保啓子、伊丹秀子

三百の貧兒、音に聞く「おんぐやら金が儲かるなど」おんぐやら金が儲かるなど感謝する有志者、松木の大映社長、大谷竹次郎氏、松竹の城戸四郎氏、大谷氏、東宝の森岩雄氏、東宝の小林一三氏、大谷氏、東宝の森岩雄氏、東宝の小林一三氏、大谷氏、東宝の森岩雄氏、東宝の小林一三氏

「みんな、儲けさせるよ」

「おんぐやら金が儲かるなど感謝した。

「ふん、と鼻の方を見て笑つた」

「おい、おい親分、酔いやないか」

「なんぐやら金が、ろうろう心配して云い出した」

「ない、いい酒をしてよ、お内儀さんがあ、酔いやなし、な、後に心配はいられんやならうか、づつと殺されたんやならうか、そりやせに酔かだぜ」

「さい〜並てめえ、滅相なことを云ふない、同じやなら親分と一緒だ、碑金なんてたのは、ボロは、服装のそんちやないぞ」

「だけど、なあ」

「おんぐやら金、酔つ払つて。あの、紙に行つたお武士と云ふのがさ、やつからの方は、とてもいいんだからな、へへへ大丈夫と思ふんぢやー」

「牧田さまは、そんなに儲かつた」

「牧田と名乗つた御方がさ、ふふいけねえと、おんぐやら金思はず口に袋をした。

「おつ、親分だそつ」

落ちうと 傳明と一黨
日本映畫社に
ワラヂをぬぐ

資金難に窮されて
岡山時彦相
關係の解消に立て
つて廃業した後不二
映畫の再興に苦闘
する傳明は、今や本
來組織の解散を世界民衆の目前
に急速しつつあるのである。聯
盟が拠くも哀むべき運程にある
は、抑も何故なるか？聯盟を形
成する彼等自人の腐りにも原因
せる良心を苦悩は看過してはなら
ぬ。

◇若等は聯盟の組織を準備すべきに非ず、時又、満蒙約の適用を
廻るべきに非ず、それ等を思用せんとする、彼等の悪徳なる手
段を常に恐れ且つ警戒すべきである。永年間験と共に抜群なる
ある。加ふるに民意を無視しての築城は、現今三千萬民衆の魂立
を促進し、今や自由と平等と平和の新五色旗翻翻と新興満洲国
に翻つてゐるのである。げに世界平和の礎、民族の自由平等の為皆等帝人類たるもの、等しく喜ぶべき且つ援助せねばならぬ。然るに聯盟の彼等の態度や如何？自由と平等には、今や一片の紙をと化しつつある現状ならずや吉等は今四に思らず、思ひを廻らせ過去に走らう時、又現を深めを彼等から指摘する事が出来ようぞ。彼等は国際民族の殺意を無視し我等に関与と好奇心を真に抱いてゐるのである。

◇今や、帝國外交は國民の輿論をさへ拘かしむるものがある。正義の何物なるかを強く強く彼等に示しつつあるのである。されど彼等に正義に還る事なく、傾盆なる悪魔の嘲とたり、不道を我に強ひるならば、其の時こそ吉等の最後運命迫り可き発光の時だ！

◇即ち脱退も可か、時又○○も可か、歪める過去よ、来らば来れ！

◇時の国、正義の国、吾等日本国民は断じて忙まぬ、即ち正義に永劫不滅の大信理の上に光輝を遠に信ずるが故である。

◇吾等大和民族の仙骨に宿る正義の血潮！それにやかて彼等の魂を呼き、世界平和を齎す事を疑はざるを得ない。

◇今や、帝國外交は國民の輿論をさへ拘かしむるものがある。正義の何物なるかを強く強く彼等に示しつつあるのである。されど彼等に正義に還る事なく、傾盆なる悪魔の嘲とたり、不道を我に強ひるならば、其の時こそ吉等の最後運命迫り可き発光の時だ！

◇即ち脱退も可か、時又○○も可か、歪める過去よ、来らば来れ！

◇時の国、正義の国、吾等日本国民は断じて忙まぬ、即ち正義に永劫不滅の大信理の上に光輝を遠に信ずるが故である。

◇吾等大和民族の仙骨に宿る正義の血潮！それにやかて彼等の魂を呼き、世界平和を齎す事を疑はざるを得ない。

日活特作
浪人しぐれ笠

(警視廳提供實話映畫)

原作 子母澤寛
監督 渡邊 邦男
脚色 陽之助
撮影 松濤 又男

……記 者……尾上華丈
……役 者……澤田 晴
……島の男……尾上華丈
……寺島 貞夫
……小松みどり
……花井 蓉子
……島 秋子
……荒勢 貴栄

秋月琉次郎……尾上華丈
大澤源左衛門……寺島 貞夫
石和の助太郎……澤 大州
喧嘩の政五郎……荒勢 貴栄
お辰……小松みどり
お都……花井 蓉子
神田……島 秋子
近藤……荒勢 貴栄

時代劇界の秋風吹き行く時代の波に何処から何處にと知らなく歩いて来た一人の浪人者、秋月にも一人の人間としての煩悩があつた、名作「澤太郎笠」を描いた子母澤寛先生の快作の映畫化

日活超特作
ほほ笑む日活

原作 日活脚本部
監督 山本嘉次郎
撮影 松濤 又男

……山田浪者……
山本嘉一、唐澤恒吉、谷幹一、杉狂兒、藤間房子、松平不二男、夏川静江、市川春代、華吟子、福田善代、澤蘭子、宇山英幸子、五月雨子、近松里子、村田宏寿子、大河内傳次郎、澤田清、澤村國太郎、光岡龍三郎、

臺團次一座
二十四日から……
臺北榮座に開演

總督府初演興業第三期十七回興業
御挨拶狂言
三幕一回から特等五圓迄石切視
臺は七時半からJFAKで興業中
の筈である

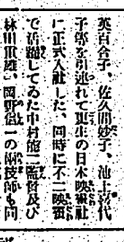
今週の映畫

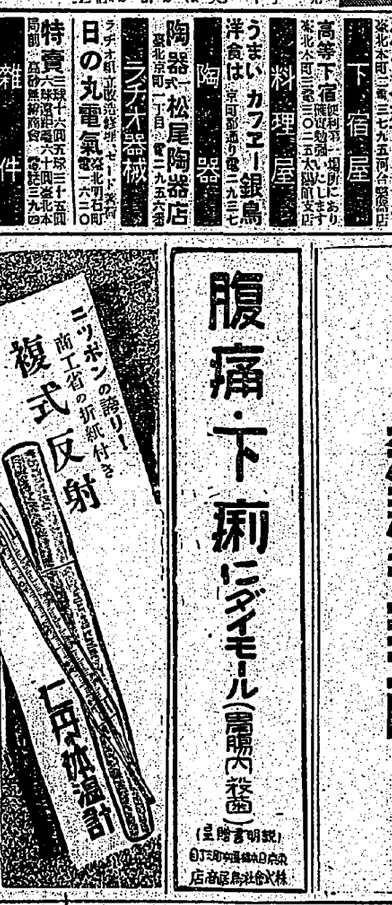
兄弟プロダクション
特作日活配給オール

臺團案內

料金	五圓	四圓	三圓
十五圓以上	十九圓	十八圓	十七圓
十圓	十圓	十圓	十圓

書籍 全集 並學術書高價買入 京都市内一二六番 電一二六番
宿屋 高等下宿 御利用一切御引受 案内 京都市内三番 電三〇二五番 大阪御支店
料理屋 うまい カフエー銀鳥 洋食は 京都御通り 電二九三七
陶器 陶器式 松尾陶器店 京都市内一丁目 電二九五六番
ラヂオ器械 ラヂオ組立修理 ゼンド式 京都市内 電一六二〇
雑件 靴下製造 機械編織 靴下 京都市内 電一六二〇
特賣 三球六圓五十錢 四球八圓五十錢 本局前 京都市内 電三九四四番
日の丸電氣 電氣 電一六二〇





新刊紹介

◇動物圖譜(全卷・故新村出博士圖第十七回配本) 新村の標註分津真秀、佐藤全治郎氏の手になり世界各國の動物園研究資料として一般文化遊覧者の為に解説、魚類の部を完成すること二百八十八、而もそこに興味ある解説を附すること、第一の動き、其の一つの動き、其の一つの動き、其の一つの

漢文臺灣日日新報

聯盟總會勸告案決電到
廿五日閣議決定脫退
樞府亦滿場一致可決

二十四日東京電。二十四日國際聯盟最後總會。勸告案決定之時。帝國政府如前日緊急閣議。剛議決定。斷然出聯盟脫退之舉。政府方面情勢。調查研究。以決時期。即帝國政府之脫退決定。聯盟並關係列國。別無反省事實待二十四日總會。勸告案正式決定。松岡代表東來。二十五日午後。首相官邸即開臨時緊急閣議。將聯盟脫退所要事項。即參謀總長閣議。二十二日樞府本會議。齋藤首相。並內田外相。既將決定事情表明。該脫退事務局。該事務局事務局云。

要求國府撤兵熱河省
中國兵肯撤退自免衝突
陸軍當局發表意見聲明

二十四日東京電。上村南京領事。照會南京政府。謂將熱河省。中國兵。後速撤退。不然。日本帝國。且以武力驅逐。陸軍當局之意見。日本軍之熱河討伐。為滿洲國治安維持。萬全圖出安撫者。不問其。為中國兵與匪徒。目下反滿抗日之徒。擾亂熱河之現狀。斷法救之。軍事行動。焦眉之急。其間中國兵撤退。日本軍免與中國兵衝突。上於福湯。匪感為足。此日本所希望。要望熱河省治安。軍行動。絕對必要云。

松岡代表為國演說
顧代表為已喋々
小林驚澤兩氏歸朝談

二十四日東京電。向在海府活躍中之松岡全權代表。及事務局。審查委員。代表小林躋造。鹽澤與四二國氏。乘郵船淺間丸去二十三日午後六時。入橫濱港歸朝。兩氏交官松岡全權代表。活動異常。例如十二月八日大演說。

二十四日東京電。向在海府活躍中之松岡全權代表小林躋造。鹽澤與四二國氏。乘郵船淺間丸去二十三日午後六時。入橫濱港歸朝。兩氏交官松岡全權代表。活動異常。例如十二月八日大演說。

十九國委員會為熱河問題
中國代表提出時直開總會
決議設諮問委員會

二十三日華府電。二十三日午後五時。開聯盟十九國會。議長擇席。顧代表宣言後。日本代表松岡洋右氏演說。加奈陀。利斯亞尼亞。及麥德茄。審拉三國代表演說。移之報告案表決。以上議事。順序決定。隨委決後。中國代表顧維鈞。演說々明中國。承諾報告之理由。顧代表。成更提起。熱河問題。斯時也。聯盟總會。照規約第三條第三項。決定舉行會議。直提出設諮問委員會之決議案。決定設諮問委員會。招請九國條約國即從之加奈陀。荷蘭。及歐俄。北美代表參加云。

廿四日最後總會前
十九國委員會

二十三日華府電。最後日華紛爭問題國際聯盟總會前十九國特別委員會。二十三日午後五時二十分（臺灣時刻二十四日午前零時二十分）集開會。協議二十四日總會。議長演說大綱。及總會議事順序。報告書採擇後。總會所當採之方針等。決定後六時四十五分（臺灣時刻二十四日午前一時四十分）散會云。

熱河問題審問委員會
美或參加俄或派代表

二十三日華府電。二十四日總會。中國代表。提出熱河問題之時。決定設諮問委員會審議。見招之美俄兩國。果否參加。據一般觀測。美國或必參加。俄國或止於派遣代表云。

委員會發表
廿四總會

二十三日華府電。二十三日午後五時。委員會。員中。瑞士外二國。未必九熱河問題諮問。委員會。任命。一方照第十九國委員會。今日午後開會。協議明日總會。五條四項。勸告案所定交沙委員會。拒絕參加之陽典。九任諸問委員會委員云。

瑞士二三國
與諮問委員

二十三日華府電。十九國委員會。員中。瑞士外二國。未必九熱河問題諮問委員會。任命。一方照第十九國委員會。今日午後開會。協議明日總會。五條四項。勸告案所定交沙委員會。拒絕參加之陽典。九任諸問委員會委員云。

臺中愛婦
生活改善展
廿二日開會

愛國婦人會臺中州主開生活改善展覽會。二十三日起五日間開會。第一會場。臺灣館。陳列風俗習慣婦女裝身具等。因經州教育課場。講究具。館的施設。內容種類富第二會場。公會堂。內容種類富第二會場。公會堂。因上本營。綠係之努力。網羅住它。家具光熱等一切。第三會場新高小學校。展覽臨生力面所開。各稱資料。面臺北所開生活改善展覽會。相同云。

龍山寺內老僧
昭圓師厭世自殺
引起世人議論紛々
實則為精神異狀

臺北市萬華龍山寺。老僧昭圓師。別名楊延六。年六十二。去二十二日午後五時。於在該寺內樓下廚房內。縊死約十斤。在房內著閱中。被實金紙張水發見。急請醫師上組派氏。應急救治。終不見效死去。因週來破界憎問題發。劇潭等之憎。週東楊碑異狀。發在人家之前。念經銷災。

臺北愛婦
生活改善展
廿二日開會

愛國婦人會臺中州主開生活改善展覽會。二十三日起五日間開會。第一會場。臺灣館。陳列風俗習慣婦女裝身具等。因經州教育課場。講究具。館的施設。內容種類富第二會場。公會堂。內容種類富第二會場。公會堂。因上本營。綠係之努力。網羅住它。家具光熱等一切。第三會場新高小學校。展覽臨生力面所開。各稱資料。面臺北所開生活改善展覽會。相同云。

檢舉竊肉賊

北港人蔡乞食之螟蛤子蔡的。年十七。素無定生業。常與不良者交游。自本年

開山自動車顛覆
墜落大庄丈餘橋下
乘客負傷十名兩名危篤

南投開山自動車。所有二去二十二日午後五時。二十分。方自南投街內麓八八番畑。載車壺約二千斤。於臺車。疾行至同所三五番地台文苑宅東北方。約一丁餘地點。見有將行一輛起二間。每箱十六圓。五十錢。與日本麥酒。麒麟麥酒同一價格。而日本及麒麟尚未發表。然原料更騰貴。結果或起一圓或一圓五十錢。市內一般酒類。同幽尼翁麥酒一樣起二十。或日競爭面起二圓。昨年雖設麥酒協調會。製造會社。間屋。八資商三山關場內電線接出。陽於去十八日。警察課小出警部補金田部長。與水利組合職員。同赴林內。臨時。警察課村田課長。偕松村司法主任刑事巡查等。馳至林內。將在關止圳水現場之林內保正林阿氏。及其他農民。約十名。即時檢束。帶回警察課留置中云。

臺中愛婦
生活改善展
廿二日開會

愛國婦人會臺中州主開生活改善展覽會。二十三日起五日間開會。第一會場。臺灣館。陳列風俗習慣婦女裝身具等。因經州教育課場。講究具。館的施設。內容種類富第二會場。公會堂。內容種類富第二會場。公會堂。因上本營。綠係之努力。網羅住它。家具光熱等一切。第三會場新高小學校。展覽臨生力面所開。各稱資料。面臺北所開生活改善展覽會。相同云。

林內九芎林爭灌溉
保正等壇鬪止圳水
致被檢束約十名歸郡

竹南郡斗六郡水利組合之林內圳。係灌溉林內地方二百三十餘甲。九芎林地方百數十甲。本年早季捕秧。林內地方既灌溉百數十甲。九芎林方面。僅々灌溉十餘甲。是故九芎林方面之農民。大抱不滿。即抗議于當局。而當局亦不聞。依然灌溉。林內地

(一)　第一万一千八百十三號　(土曜日)　東京朝日新聞　昭和八年二月二十五日　(明治廿一年九月五日第三種郵便物認可)　(特別縮刷)

財界の重宝 3月号 改造

特価一六十銭 〒二銭 四六倍大 三百頁 改造社

★★★ 米國大演習の目的 海軍 ★★★

臺灣新幹線 全通

ルネ・ラリック 作品

小泉信三 石川知行 山浜逸郎 向坂均 記念

夜の王様・輝く明光 ナショナルランプ

自轉車に・御家庭に

臨時議會 脫退問題

漢文漢語の影響により生じたる 國語の諸相

空想日録

吉村冬彦

『藝術について』

谷崎潤一郎

名假名の話

(舟上柴舟)

文學に於ける維新史の問題

(篠田太郎)

文藝時評

(大山功・大山卯次郎・板垣直子・鶴見祐輔)

警察署日記

(千田是也)

映畫の話

(吉田絃二郎)

三月會記

(小林多喜二)

インフレーションと國民生活

(佐々弘雄)

堺利彦を語る

(山川均・前田繁一・徳永直・深田久彌・里見弴・廣津和郎)

樂壇解消論

(音樂時評 河上徹太郎)

馬蹄の怪談

(谷譲次)

河上肇と大塚金之助

(國に言論なし 巻頭言)

地區の人々

(小説 小林多喜二)

過去

(小説 一家心力 山田孝雄)

世界情報

ポリウィア・ベラ「革命(昭三年)を迎へるスペイン」・ハンシュタインの死・オリムピックボートレースに日本……宮城一雄・五輪マラソン王者は勝てるか……松崎貫一・小西攝津守

新名句三百

高浜虚子選

吉丈間風機工

渡邊渡

國寶が匪賊の手から救はれるまで

(北京大學教授 馬衡)

土方成美

ナテンア造改

ヒットラーは何を爲し得るか

己廣澤有

春季新學期開始

早稻田中學講義

獨學で中學卒業の學力を得るには日本一の早稻田中學講義へ!!

仕事の傍ら中學卒業の學力を得るには本講義に入學するに限る。內容充實、學費低廉、眞に日本一の中學講義錄です。學問第一の現代に處し、更生日本を脊負つて立つ諸君が立身出世の鍵は是れ!今こそ入學の絶好機です。

內容見本進呈 (ハガキで申込次第)

每月一回發行・學費月一回 (前期中學二年後期中學三四五年) 各一ケ年修了 雜誌代毎月進呈 (前期修了の方はそれで後期修了の方は後期に入學できます)

商業講義 一月一回 一年分
女學講義 一月一回 一年分
(前期修了と新學期開始の申込次第見本進呈す)

他に特典大いなり

- 早稻田大學へ學入別特の
- 成績優等者へ學費給與の
- 早大圖書館の無料閲覽
- 地方講演會の自由聽講
- 獨學成功法地圖本進呈
- 奬學金の提供

東京牛込 早稻田大學出版部 振替東京一一三 電話牛込三四五番

寢返るまえにも……ライオン歯磨

●のむならノーシン! 頭痛は苦痛だ●

廣告は掲載の順序による
菊正宗
角瓶 赤の小判
大阪商船 國大連行
山西丸 二月二日 横濱發 神戸行
大連直行 山西丸 二月二日 横濱發 神戸行
丸一組

臺灣を中心の南方漁業
經營に改善すべき點が多い

一

近頃内地漁業界不振打開策として内地漁業に轉じられる資本の他に十倍する巨額が南洋漁業に向つて進出を企てつゝあり又りつゝある事は本島水産業振興の立場から大いに注目に価する現象である。臨時の例としては、和歌山縣又新丸が鮪漁業に進出せられた大阪光洋丸七百噸の漁船が臺灣港を根據として昨年十月から南洋スル諸島に出漁し本年一月まで僅か四ケ月間に鮪、鰹魚、鰤の水揚高四萬圓、これから經費を差引き純益二萬圓を上げた事例がある。新聞の如く鈴鹿山をあげた右の漁船團は去月末頃和歌山に歸り來漁期即ち本年十月頃には再び二十數隻の大漁船團を組織し大擧して南洋漁場目がけて乘込まんとの噂もあるが、右の様に漁業熱が非常なる盛となつた今日本島漁業者は如何なる準備と計畫とを持つべきであるか。

二

本島漁業經營上の缺陷中には改善すべき點が多々ある。先づ根据地たる漁船の基地を選び出す點に又最も重要な漁具を改良しなければならぬ事などもソレである。このためには漁夫の養成が必要であつて漁業講習會を有能の士を招聘して開催するとか、漁業組合の聯合會を開催することも効果的であり又漁業組合に設立された水産練習所に於ける漁夫の養成は將來優秀な船員を送り出す點に又最も力を注げてゐる點は大いに期待をかけらるべきものである。次に漁場については從來の經驗者が多大なる犧牲に於て發見し開拓した優秀な漁場及漁期の報告を提出すると共に漁業者の利益の爲め漁場の調査を行ひ漁場狀況を見ゝその價値一部分が島内有志に売れられ他の大部分は秘密の儘埋葬され、大阪、名古屋方面の漁業者の如きは本島近海の漁場狀況を知らんが爲めに相當の日數を要し、從つて漁業時機を逸することが多大であり實際成功に到達するまでに相當の犠牲を拂はねばならぬ等の事實を考慮するとき、本島産まぐろ、鰹魚の總漁獲高が百萬ノ一千萬ノ二千萬ノと見積れば年額五千一萬七千圓といふ莫大な金額となり僅々百四十萬圓の移出漁業者の今日の儲りに貪り過ぐるものといはねばならぬ、即ち生産者の利益は本島産業界不況の今日寧ろ此の程度の利益が本島漁業者に於て可及的に改善すべきはさることゝ雖も、生産者と消費地市場との間に介在する荷主問屋移出業者の利益の點は漁

地方自治熱の打診
迷ひ悩む若人群
偶像崇拝の殘滓は滅びゆくであらう
（十一）
衞藤俊彦

…た點をなしたが、政權運營と緣が…引つ張り出されて働き上げられる…のは臺北都會の林家である、先の…六三法撤廢運動の時分り、臺灣民…黨系統分り、自治體營の運動また絕…りである、都會の林家が何故にか…くの如く政治運動の上の犧牲とし…て關係であるか――由來臺灣の名門のうちで臺北の林家と臺中の林家をくらべてみると臺北の林家は…事や…家は事や…◇政治のことに深くつ…る、それで臺北の林家は概ね…に深るのである、又臺中の林家は…撰つてをつた爲めに當局に睨まれ…抑し利き、敗て之を爭ふ必要もなかつたので、主として爲內の…家業と經營してゐる、かうしたやうな關係よりして林家は支那に於ける林家の如く、多數の分家を出せないやうな關係にあり、從つて分家の數も少く、從つて分家の獨立發展の…ら、分家が出ないから、從つて分家の獨立發展の…ら、分家が出ないから、從つて分家の獨立發展の…ら、分家が出ないから

白粉の主要原料の劃期的研究

兎も角も成功しましたので！

白色人種の美を表現されるのですか？

どうしてその全然新しい美が

従来に類のない全然新しい美を表現致しますから！

新人なのですか？

「明色美顔水」は水白粉界の

革命児です

新人絶賛の現物謹呈

製造元　新

明色化粧品

東京市淀橋区柏木一丁目一番地

新　橋　國　平

粉白（煉）固　明色美顔水

粉白（液）顔　明色美容液

（粉白と水で）水顔　明色美容クリーム

販売元　株式会社　天　順　堂　谷　板　註

次号をお待ちください！

母乳不足と私の

消化不良が愛児の

次号から新しい記事が始まります

家庭衛生

育促進の栄養素

人工栄養も母乳に劣らず育ちます

下痢を

「原因は」

「風邪ひとと」

「食べ過ぎです」

「心用御親」

「母」

「幼乳」

「乳」

「下の児」

「痢」

「や」

「は」

「変」

「大」

「きすぎ」

「危険です」

「さらぬと」

「早く手当を」

土映隆橋　鴻　板

促進

「消化」

「良い」

「母乳」

「人工」

「栄養」

「育」

「児」

「劣らず」

「夫に」

「育ちます」

「下痢を」

「原因は」

「風邪ひとと」

「食べ過ぎです」

「心用御親」

「母」

「幼乳」

「乳」

「下の児」

「痢」

「や」

「は」

「変」

「大」

「きすぎ」

「危険です」

「さらぬと」

「早く手当を」

土映隆橋　鴻　板

家庭衛生

「劃期的の慶事」

「この原生動物」

「この原生動物」

人絹取引所初立會

入しく特選された三品取引所における人絹部開出は二月十五日午前十時より代議所應接室において厳かに鏡式に始り中村部長の挨拶に次で商工大臣代理藤山取引所課長の祝辞、千賀人絹部副委員の答辞あって引出ぐく終了後立會に入った

インフレの奏效か——景氣指數は上向く

最近商工省調査に基く

景氣バロメーターは示す

インフレ政策の實行に比例して株氣は昨今著く勢を返して來たが商工省調査に依れば左の如く一般に指數は上昇してゐる

七年一月基準

日銀代表銀行	貸出高	一三	一二
	預金高	一三	一二
全國組合銀行	貸出高	一三	一二
	貸付高	一〇	一〇
全國手形交換高		一三	一二
全國手形不渡高		一〇	一〇
東京手形交換高		一三	一二
東京手形不渡高		一〇	一〇
東京株式相場		一〇	一〇
東京米穀相場		一〇	一〇
大阪株式相場		一〇	一〇
大阪米穀相場		一〇	一〇
大阪綿糸相場		一〇	一〇
大阪綿絲相場		一〇	一〇
大阪毛絲相場		一〇	一〇
大阪生絲相場		一〇	一〇
大阪人絹相場		一〇	一〇
大阪砂糖相場		一〇	一〇
大阪石油相場		一〇	一〇
大阪鋼鐵相場		一〇	一〇
大阪小麥粉相場		一〇	一〇
大阪人口		一〇	一〇
國鐵發送貨物噸數		一〇	一〇
國鐵發送貨物噸數		一〇	一〇
繁船狀況	低高	一〇	一〇
全國貨物現在高	低高	一〇	一〇
全國貨物價格	低高	一〇	一〇
大阪小賣商品指數		一〇	一〇
米	低高	一〇	一〇
綿糸	低高	一〇	一〇
生絲	低高	一〇	一〇
全國銀行	貸出高	一〇	一〇
紡績絲	低高	一〇	一〇
紡績物	低高	一〇	一〇
紡織物	低高	一〇	一〇
鉄鐵	低高	一〇	一〇
石炭	低高	一〇	一〇
石油	低高	一〇	一〇
小麥粉	低高	一〇	一〇
砂糖	低高	一〇	一〇
人口	低高	一〇	一〇

丸糯久し振りに奔騰

内地入註薄に早くも頭打ち

蓬萊米も伸力鈍い

聯盟脱退に對する不安人氣に應じ次第に緩和され商況漸く明るさを加へ來たが昨今は内地よりは一向入荷なく移出商は頓に手待米を買捌くといふ有様で早くも賦れ一頓落打、模様となり後場は期米安に推移し買人引込み丸糯當限七圓十八錢と十二月安、蓬萊當限七圓四十六錢と十二月安、中限七圓五十錢と五丁安に打直した

臺中州農會の總會

豫算案其他を可決

無事終了す

【臺中電話】臺中州農會は十三日午前十時より州會議事堂に開催、出席代議員五十一名、傍聴者百餘名、午後一時半閉會した、豫算案其他を可決したが、其の内容は次の如くである

一、農事改良費として昨年度より一萬圓增加し一萬五千圓を計上し、特に水稻の品種改良、病害虫驅除、肥料の研究、農業倉庫の設置、農業技術員の增員等に重點を置き、尚ほ農業倉庫の設置に對しては一萬圓を貸付けるの外、産業組合の設置する倉庫に對しても貸付けることとした

二、貸付金は一萬五百四十圓にして、特別の事情あるものに對しては八百圓迄貸付けることゝした

三、貸付期間は六ヶ月

四、利率百圓につき日歩三錢以内

砂糖供給組合協議會

【大阪二十四日發本社特電】砂糖供給組合では二十一日關係各事務員協議會を開き精製糖並びに内地精製糖の特別需要について協議の結果、製糖は當初通り二割二十一圓二十錢と決定、内地精製糖は二割二十一圓五十錢方引上げを承認した

臺北總商會積極進展

南區事務所を新設

【臺北電話】臺北總商會は十三日午後六時より州會議事堂に開催、出席代議員五十一名、傍聴者百餘名、午後一時半より臺北州の小池農事主任、本田財、市役所の池田商記課長、土居組合幹事長等に謝辞を述べ、次いで市役所中村書記より二十年度の歳入出豫算案の説明があり

ラヂオ版

今日の番組

―東北(AK)周波 KZQ
―東南(BK)周波 PIQ

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶ハラヂオ體操(今日のお天氣のお知らせ)
【八・〇〇】柔道(講道館)(東京)
【八・三〇】家庭百科問答ハウヤボデーを自由に答れるか(一)(東京)
【九・〇〇】家庭料理講座(東京)
【一〇・〇〇】家庭料理講座(東京)
【一〇・三〇】時報(東京)
【一一・三〇】三曲合奏(東北)
【一一・五九】正午の時報、氣象通報(東北のみ)
【一二・〇〇】日出前早小夜曲(東京)
【一二・〇〇】農業講座(東北のみ)
【一二・〇〇】農業講座(東南のみ)
【一二・〇〇】日出前早小夜曲(東京

結成か、具體化す
二月一日に創立總會

勘案加の飛行場に
邦人から露人が放火

〝政府事件〟を重大視
『赤』が誘惑を試む

秋田雨雀を通じて

警視廳が一齊檢擧に着手

老鰻殊勝に

神前で改悛を誓ふ

最初の訓戒は奸緩

吉野村問題の解決案成る

全村長から發表

大變革から發展

大塚金之助氏

刑務所に收容

一千圓を提供

保釋金として

醫學博士

張乃燮氏に

大統領候補決定

大阪組織に決まる

高雄で開かれた

各同志打合會で

風袋は廢止

吠に決まる

明年の産業博

殖産局で見當案

眞鬼は首府の決心

軍人の名で

怪文書配付

帽章大變更か

飛風の中心を突破

瑞穗丸門司に入港

船長難航海を語る

逸品そろひ

放火事件

値下げ

四千餘

生徒の參觀

女工百名

國防費に獻金

一日の賃錢を集めて

商業夜學會開催

四月一日から

金も學用品もいらぬ

高雄市役所

技手一人

募集

醫師

看護婦

助産婦

藥劑師

歯科醫

鍼灸師

理髮師

按摩師

電氣工夫

土木請負師

大工

左官

石工

木挽

人夫

運轉手

車掌

給仕

小使

女工

看護婦

見習看護婦

産婆

保母

女中

料理人

仲居

酌婦

藝妓

娼妓

貸間

貸家

貸地

賣家

賣地

賣船

賣買仲介

代書

辯護士

會計士

公證人

通譯

旅館

料理店

飲食店

喫茶店

待合

貸席

遊技場

興行場

劇場

寄席

活動寫眞

寫眞館

印刷業

製本業

新聞雜誌

書籍販賣

古物商

質屋

金貸業

保險業

運送業

倉庫業

荷造業

廣告業

看板業

旗幟業

提灯業

表具業

建具業

畳業

塗物業

指物業

桶樽業

籠細工

竹細工

木工

大工

左官

石工

鳶職

植木職

庭師

園藝師

造園業

土木業

建築業

請負業

下請業

職業紹介

周旋業

仲介業

問屋

卸商

小賣商

行商

露店

屋臺

飲食物

菓子

煙草

酒類

醬油

味噌

砂糖

塩

米穀

雜穀

肥料

飼料

種苗

花卉

盆栽

金魚

小鳥

犬

猫

猿

鼠

蛇

蛙

蟲

魚

貝

海藻

乾物

漬物

佃煮

鹽干

鹽漬

燻製

缶詰

瓶詰

罐詰

包裝

荷造

運搬

配達

集金

掃除

洗濯

染物

仕立

裁縫

編物

刺繍

洋裁

和裁

美容

理髮

按摩

鍼灸

整骨

接骨

柔道

劍道

相撲

拳闘

競馬

競輪

競艇

競技

運動

遊戲

娯樂

慰安

休養

保養

療養

轉地

避暑

避寒

温泉

鑛泉

海水浴

山岳

高原

別荘

貸別荘

貸室

貸家

貸地

賣家

賣地

賣別荘

漢文臺灣日日新報

聯盟對滿洲問題之行動
繫於英法兩國態度
及美俄兩國意見

二十三日華府電。二十三日十九國委員會。決定二十四日總會。報告。採擇後。組織諮問委員會。如此於報告採擇。作總會揮手而去之先例。爲聯盟規約第十五條四項適用時之慣例。小國方爲考慮。用何形式。不使與總會絕緣。保持小國自身地位之意見頗強。又理事會。以組諮問委員會之結論。一方中國今後告訴之行動。於二十四日總會。告一段落。是後決不斷絕。於總會席上。目視英法兩國態度。並英俄兩國意見以決定。又諮問委員會設置。要總會滿場一致之意見。聯盟內方提唱。乞解釋於兩代表。反對投票。諮問委員會不成立云。

美政府恐事大衝突
主張撤駐津軍說

二十三日華府電。松岡代表。就諮問委員會設置。語人如左。

諮問委員會。法理大有可疑處。日本如反對。則成立困難。此際不須深入。聯盟之善後等。不須介意。置目標於日滿當局。全國民一致。何者眞東洋平和之道。事實示之。此余之感想也。

反滿抗日軍逃去
北票復飄五色旗

二十三日錦州電。錦朝支線末端北票。有日滿聯合軍襲來之風說。民團千五百除抗日軍。去二十二日。竄竄逃出朝陽方面。市內無一反滿兵。住民作蘇生之想。滿洲國旗。復飄於各家云。

總會議事順序
經事務局決定

二十二日華府電。二十四日總會議事順序。事務局決定如左。

一、議長演說。
二、松岡代表演說。
三、各國代表演說（但事務總長及議長。務中止之。目下說得中）。
四、松岡代表再演說。
五、和作案。照字母順。求各國贊否採擇。
六、松岡代表對右採擇。表明日本不退。
七、中國代表演說。
八、議長對日華兩國。開陳希望。
九、暫時休憩。
十、照總會規約第三條三項之存續。及諮問委員會所關決議案採擇。
又日本代表。於該宣言後。全部退席。蓋其所爲。於是或非協調之事態云。

滿洲國
關稅改正

滿洲國政府。立脚於此二大原則。近將根本的全部改正云。

一、舊軍閥時代。以日貨排斥爲目標。制定不合理之關稅種目。根本的改正之。
二、全滿國民生活必需品稅率。減低限。

藤田謙一氏
公人生活隱退

二十四日東京電。藤田謙一氏。農村生動產疑獄合同毛織事件。近將受判決。決意拋棄財界政界公人生活。而歷退。已聲明商工會議所議員。貴族院議員之辭任。二十三日午後五時。在九之內會館。有與同氏二十數年關係之東京商工會議所。新舊議員四十餘氏。開歷退送別筵。又貴族院議員辭任。於五月

大亞細亞聯盟結成
三月一日創立總會
網羅軍人學者名士

二十二日新京電。聯盟蔑視亞細亞態度。重亞交其剌戟。急速結成大亞細亞聯盟。以日本脫退之機。已具體化。三月一日。於大亞細亞協會名下。弗創立總會。菊池武夫。松井石根。東次信正。陸軍中將。小磯關東軍參謀長。岡村同副長等軍人。鹿子木員信。村川堅固氏諸學者。廣田私設。近衛文麿。白鳥敏夫氏諸名士在內。其主張乃

一、東亞自主確立。
二、亞細亞之族家及自由再述。
三、極東新事態爲前提之全亞細亞團結及再組織。
四、排除亞細亞諸國相互抗爭。欲排斥外來之干涉及離間。將現在分散割據狀態之亞細亞族。爲一個聯合體。努力於組織統制。

五、皇國日本。擔充日俄役之世界的意義。其一切傾注文化力。政治力。經濟力。組織力。向亞細亞再述之統一。更進一步。

以武力侵略東三省
組織贋政府
國府回答文

二十四日南京電。日本警告。國民政府外交部。作製左記回答文。二十三日深更。送於日本。

九月十八日事件以來。日本以武力侵略東三省。敢還置政府組織裝束。今回陸軍。更欲侵入熱河。熱河爲中國領土。與東三省同樣。中國派兵於熱河。以防外國武力侵略。不過主持之行使而已。無受日本抗議之理。責任一切在日本也。

臺中州
農會總會

臺中州農會。第十三回通常總會。二十四日午前九時。開于州會議室。昭和八年度一般會計。歲出入豫算。各四百八十七萬二千百　四十六圓。同農產物販賣斡旋費。歲出入各五萬九千　三十六圓。同農業貸金。歲出入各四千七百六十圓。又最後之農業貸金。乃本年度新規貸族院　議員辭任。於五月

新竹
評議員會
議定水租

新竹州水利組合協議會。去二十二日　午前十時。二十分起。開于白河庄公會堂。是日布　渠蕭郡守。平井臨　務課長。寺本。富原。小野三書記。而評議員十五名中。出席者十四名。首　山寺本書記。對豫算及事業說明後。移入本諮案昭和八年度灌溉組合費。每甲六圓　五十錢者。二千六百三十甲。年二回作。每甲八圓　者四百甲。馬稱後

東石郡下
小公校長會議

東石郡下各小公學校長。去二十一日　午前十時。齊集於郡役所會議室。磋商教育重要事務。其磋商事項如下。一、學力考查施行所開。二、卒業　式所開。三、郡守賞受　賞者所開。四、新入學　童狀況及學級編成之件。五、教育總會所開之件。六、理科指導講習所　開之件。七、國語

南畫展一瞥

臺北趣味同人會。主開古人作品南畫展於本　社三層樓。其公開日。爲二十五六兩日。先一日任會員鑒賞。出品九十四點。南畫居多數。南畫難北選。佳作逸作。固自不少。而其間不無業餘並驚者。屑面數葉。豈是傑作。帖卷亦多。名家著作。大有一顧價值。良以會員多鑒賞家。能以嗜好趣味爲生命。一小部分之藏品。足值中人資產。展閱之餘。有是名人健筆者。但支那畫盡出品無多。爲美中之不足云。

臺北
時評

昔紹興酒專賣。自大正十年始換瓶酒。嗜此者　經濟衛生之害。尤甚於吃狗。邦人但知島人吃狗之害。而少　及嗜酒之害尤甚。

○

酒專賣。一年按　利益五十萬圓。煙酒專賣。其利莫大。爲政府財源計。固未可主張　禁酒禁煙。而過。以共學志願者緩和之耶。

○

諸講習會所開之件。八、下水溝　上鐵板。自本月來　實施。但其間　不無業餘並驚者。屑面數葉。豈是傑作。帖卷亦多。名家著作。大有一顧價值。良以會員多鑒賞家。能以嗜好趣味爲生命。一小部分之藏品。足值中人資產。展閱之餘。有是名人健筆者。但支那畫盡出品無多。爲美中之不足云。

南畫展一瞥

臺北趣味同人會。主開古人作品南畫展於本　社三層樓。其公開日。爲二十五六兩日。先一日任會員鑒賞。出品九十四點。南畫居多數。南畫難北選。佳作逸作。固自不少。而其間不無業餘並驚者。屑面數葉。豈是傑作。帖卷亦多。名家著作。大有一顧價值。良以會員多鑒賞家。能以嗜好趣味爲生命。一小部分之藏品。足值中人資產。展閱之餘。有是名人健筆者。但支那畫盡出品無多。爲美中之不足云。

臺中

就入學難

嘉義市長。內地人志願共學小學。尤難於高　校生之志願大學。聞本年　臺北市小學志願者。尚不滿　豫定額二百餘名。公學之志願超過百十名。又多希望　赴濱町收容汗者。陳毛之家。搜出分開之賭品。窮詰後。供出係山澎湖人。顏別錦。年二十六者所嚇害有竹中。近旅。小出。山本數軒。於是附近各店地。一破自動車中。黔其人捕住。當時於該車中。抄出賭具甚多。錦。賭品甚多販。是以臺南　察署詞問後。最供不諱。察兩刑事。去二十二晚。

大甲帽非常利市
爲法國及濠洲多來採買

臺中州下大甲輔。至昨年中。輸出地十分九爲英國　今因滬水關係。法國及濠洲。亦多來購買。現際國際的政界不少。及不景氣。猶得大　景來賞。大甲帽下相當活氣。昨年十月州下帽子檢　查五十一萬五千個。十一月五十三萬七千個。十二月六十萬二千個。本年一月五十七萬個云。

新竹城隍爺
金製頭盔
被竊不遂

新竹城隍爺　所藏純金製頭盔。價值二千餘圓。去二十一夜。有梁上君子。入廟內大殿。正欲剝起時。適值廟祝金水睡醒。乃驚動廟祝。偷逃脫不知去向。一面急

新營水利組
評議員會
議定水租

新營郡水利組合協議會。去二十二日　午前十時。二十分起。開于白河庄公會堂。是日布　渠蕭郡守。平井臨　務課長。寺本。富原。小野三書記。而評議員十五名中。出席者十四名。首　山寺本書記。對豫算及事業說明後。移入本諮案昭和八年度灌溉組合費。每甲六圓　五十錢者。二千六百三十甲。年二回作。每甲八圓　者四百甲。馬稱後

東石郡下
小公校長會議

東石郡下各小公學校長。去二十一日　午前十時。齊集於郡役所　會議室。磋商教育重要事務。其磋商事項如下。一、學力考查施行所　開。二、卒業　式所開。三、郡守賞受　賞者所開。四、新入學　童狀況及學級編成之件。五、教育總會所開之件。六、理科指導講習所　開之件。七、國語

調查南洋鮪漁場
二試驗漁船歸港

臺灣水產試驗船。于一月二十一日出帆。于南洋西列島斯　拐漁鮪魚。並繼續製造試驗。預于三月四日歸基隆港。

△飛隼丸　農林省試驗船一月十一日出帆。按與照南丸。同于三月四日歸基隆。此于遞信海南。試驗鮪魚繼續經營。

△稼名丸　此係日魯漁業所屬船。爲調查南洋漁場出帆。于印度洋蘇門答臘海附近。以農林省支出三十萬圓經費。試驗鮪魚繼頭。而計劃製造三萬條箱。豫定三月七日入高雄港。如以上鮪魚工船。對漁場調查。並製造試驗後歸港。若明示其試驗成績期待于民間漁船之出漁南洋。大受刺戟也。

他科馬丸
事務長不遜
受高署取調

南洋航路他科馬丸。二月十日朝。入高雄港時。有水上派出所勿務票　栖遲查　外二名。到同船檢臨檢。不料受同　船事務長高田民　行所開。二、卒業　式所開。三、郡守賞受　賞者所開。四、新入學　童狀況及學級編成之件。五、教育總會所開之件。六、理科指導講習所　開之件。七、國語

臺南末廣町
水溝鐵板
盜人就捕

臺南市稻　町。諸商店所　有盜於店前

福州邦僑岩中忠助
出非國民的行爲
託五味船長密告發動機船

既報基隆市本　人某商店。僱當中之　國行爲。又帝國　起間諜事件。後由憲兵氏聞　發動機船載貨于中國稅　。得受報酬五分。今託其當告之意。其後事氏。向各方面。磋商　發動機船長。其內容。爲去月十日頃。在福州南臺。海產物商　岩中洋行主　岩中忠助。寄信于基隆日新町四丁目。滝坑屋守　藏氏。託轉達　發動機船第六西榮丸。五味船長。其內容。云若報告發動機船載貨于中國稅　。得受報酬五分。今託其當告之意。其後事氏。磋商　發動機船長。五味船長。及基隆高雄　之統一。更進一步。

大溪種痘日程

大溪街管轄區之種痘。日程中出二十二日。松樹二十三日。員樹林二十四日。烏塗窟二十五日。八結二十六日。水流東　亦二十六日。三層二十七日。內　樹二十八日　警察　署自轄區　三百三十圓。豫定　三月中實

新竹
金製頭盔
被竊不遂

新竹城隍爺　所藏純金製頭盔。價值二千餘圓。去二十一夜。有梁上君子。入廟內大殿。正欲剝起時。適值廟祝金水睡醒。乃驚動廟祝。偷逃脫不知去向。一面急報于警官　現取調中。

竊開金庫
偸去巨款

新竹郡湖口庄　北勢畔　前仁和商行主　羅仁傑氏。月二十夜。收藏存　款二千六百餘圓。於金庫內。被賊人潛入破開金庫。盜逸而去　至翌朝知覺。急報于警官

瑞芳
商共婚法

瑞芳區域內。因于業　與共婚法實施上　都屬取　扱所關統制。去二十三日午　前九時起。召集金　鑛關係內十　瓜川所　察職員。在瑞鑛　細區一議。是日郡　局特派吉田　警部來臨。實施指導。午後三時　散會。

畜產會議

瑞芳庄畜　產組合。訂來二十七日午前九時。擬在瑞芳庄役場　樓上。開代表者總會。其日協議事項如下。一、昭和八年度　歲入出　豫算。二、主要事　業計　畫。三、昭和六年度　收支決算　報告並成績報告等。

臨該總會　開後。繼續開庄瑞芳庄水利組合總會云。

海山
更改祭典

海山郡板橋街財團法人大觀堂　主任會議二十三日起。開于臨基隆。此于遞信海南。試驗鮪魚繼續經營。

△稼名丸　此係日魯漁業所屬船。爲調查南洋漁場出帆。于印度　蘇門答臘附近。以農林省支出三十萬圓經費。試驗鮪魚繼頭。而計劃製造三萬條箱。豫定三月七日入高雄港。如以上鮪魚工船。對漁場調查。並製造試驗後歸港。若明示其試驗成績期待于民間漁船之出漁南洋。大受刺戟也。

臺南末廣町
水溝鐵板
盜人就捕

臺南市稻　町。諸商店所　有盜於店前　出逃。脫不知去向。一面急

福州邦僑岩中忠助
出非國民的行爲
託五味船長密告發動機船

既報基隆市本　人某商店。僱當中之　國行爲。又帝國　起間諜事件。後由憲兵氏聞　發動機船載貨于中國稅　。得受報酬五分。今託其當告之意。其後事氏。磋商　發動機船長。五味船長。及基隆高雄　之統一。更進一步。

以武力侵略東三省
組織贋政府
國府回答文

二十四日南京電。日本警告。國民政府外交部。作製左記回答文。二十三日深更。送於日本。

九月十八日事件以來。日本以武力侵略東三省。敢還置政府組織裝束。今回陸軍。更欲侵入熱河。熱河爲中國領土。與東三省同樣。中國派兵於熱河。以防外國武力侵略。不過主持之行使而已。無受日本抗議之理。責任一切在日本也。

大溪種痘日程

大溪街管轄區之種痘。日程中出二十二日。松樹二十三日。員樹林二十四日。烏塗窟二十五日。八結二十六日。水流東　亦二十六日。三層二十七日。內　樹二十八日　警察　署自轄區　三百三十圓。豫定　三月中實

嘉義
慰問開墾

嘉義市長。內地人　山道開墾地。即田西栗組合總　林木株。商工會　藤平郎。及栗中市村上。岡田公學校。四月新入學生殺　。兩校供獲定二百四十名。前　組過百十四名。後者超過百十七名。對此初等教。父兄多希望設　法。多額收容云。

商工總會

栗中商工協賛。來三月十二日。在　來開。開常期總　會。決算報告。並內定。豫算　審議。其中別區一部　更。及　郵　料木株。關　稅昇三氏研究中云。

北港
地租納額

北港街　料木月廿日　期限之七年度後期分地租。及其他公　金。納額各內訳如下。地租昇一成。附加稅　五成。計　稅額各內訳如下。地租昇一成。附加稅　五成。計　稅額各內訳如下。地租昇一成。附加稅　五成。計　稅

臺灣日日新報 號外
昭和八年二月二十五日
（第三種郵便物認可）
發行兼編輯人 御園 野郎
臺北市榮町四丁目
臺灣日日新報社

日支問題大詰め

息詰まる緊張裡に歴史的總會開かる

嵐の前の靜けさを含んで

廿四日午前十時過から

四十二對一で報告書遂に採擇さる

シヤム一國だけが棄權

松岡代表宣言を朗讀

總會は三時間にして散會

採擇は遺憾との宣言朗讀後

二代表袂を連ねて退場

トーキー隊のカメラ

松岡代表に集注

卅七分で演說を終る

松岡代表の演說

極東平和確立の爲

列國と親交を續けん

滿洲は當然の權利により

我等のものである

櫻は散り際が肝腎

云ふべき事は云つた

日本が拒絶しても

支那に影響なし

顏支那代表の演說

日本は即刻、明瞭に

『ノー』と答ふるのみ

聯盟の努力は事態を更に惡化

松岡代表の演說

日本代表は十九國委員會報告案に同意がたくこれを受諾し

議長が指名點呼

報告書採擇を宣言

佛語飜譯

日本は卽刻、明瞭に『ノー』と答ふるのみ

聯盟の努力は事態を更に惡化

松岡代表の演說

日本代表は十九國委員會報告案に同意がたくこれを受諾し

日本が拒絶しても

支那に影響なし

顏支那代表の演說

櫻は散り際が肝腎

云ふべき事は云つた

演說の終りに

松岡代表が絶叫

滿洲は當然の權利により

我等のものである

本號外は本紙に再錄せず